

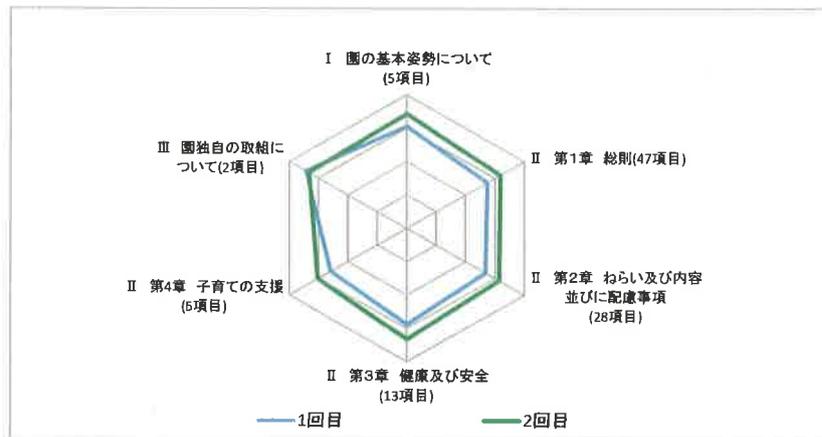
<評価方法>

十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック回分）

評価	園名 糸満市立 喜屋武こども園				園長 仲宗根愛利			
	1回目				2回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	54	30	7	0	69	24	2	0
II 第1章 総則(47項目)	365	383	72	12	511	333	49	0
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	178	274	44	7	274	239	19	0
第3章 健康及び安全(13項目)	101	125	8	0	159	85	2	0
第4章 子育ての支援(6項目)	28	48	14	0	45	42	8	0
III 園独自の取組について(2項目)	23	15	4	0	24	14	0	0

レーダー



【所見】

[成果]

- 全職員で教育・保育目標を共有し、園の教育・保育の方向性について共通理解を図った。園内研修では公開保育や外部講師を招聘し、園児の発達や興味・関心を踏まえた環境構成や援助の在り方について協議し、遊びが広がる保育の展開につなげることができた。
- ドキュメンテーションを活用し、園児の姿を共有しながら保育を振り返ることことで保育内容の改善につながった。
- 食物アレルギー児や医療的ケア児の対応については、保護者や関係機関と連携しながら支援方法や緊急時の対応について共通認識を持ち、対応を行っている。
- 地域で野菜の収穫や地域行事への参加など地域資源を生かした保育や幼小連携の交流保育・合同研修を実施し、相互理解を図ることができた。

[課題]

- 保護者のアンケートの結果から、園の教育保育目標や保育方針についての理解が十分伝わっていないことが課題としてあげられた。
- 地域の子育て支援の充実として、子育て応援デーの日数を増やしたが、参加者が少なかった。周知方法や内容の工夫が必要である。
- 教育・保育要領について全職員で読み合わせし、理解を深め、保育の理論と実践を結び付けながら保育の質の向上を図っていく必要がある。
- 危機管理について、マニュアルの確認を行い、安全な対応について全職員で共通認識をもち、取り組む。

[改善点]

- ドキュメンテーションを活用し、園児の姿や遊びを通じた学びを保護者へ分かりやすく伝える機会をもつ。
- 教育・保育の読み合わせを行いながら日々の保育を振り返り、園児の発達や興味・関心を踏まえた遊びが豊かに展開されるよう、環境構成や援助の在り方について全職員で共通理解を深め、教育・保育の充実に向けていく。
- 災害時・緊急時の対応については、避難訓練を適して定期的に見直しを行い、全職員で安全な保育環境の整備体制づくりに努める。